



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「私たちは変えられる」 “Yes,we can change.”
アジア地域会長主題	「アクション」 “Action”
西日本区理事主題	「未来に残すべきものを守り育てる」 “Let's Protect and Cultivate What Should Be Passed on to the Future.”
中部部長主題	「ワイズ総活躍中部」
金沢クラブ会長主題	「語り合おう 伝え合おう 楽しいワイズライフを」

2019 5 月間強調 L T

今月の聖句 (数澤輝夫君)

わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物をもっていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。

ローマの信徒への手紙 12章6～7節

5月強調月間

リーダーシップを学んでください！クラブ、部、区、あらゆる機会にリーダーシップの学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップし、リーダーシップを身に付けて下さい。全てを楽しんでください。Y'sly
 船木順司ワイズリーダーシップ開発委員長 (京都トップス)

5月例会プログラム

とき	2019年5月16日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000 (メット)
司会	伊藤仁信君
開会・点鐘	幸正一誠会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	司 会 者
ハッピーバースデー	幸正一誠会長
ゲスト紹介	数澤輝夫君
食前の感謝	数澤輝夫君
スピーチ	大沢俊夫氏
	“砂漠を緑に、心も緑に”
委員会報告	各 委 員
ニコニコタイム	山内ミハルさん
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	幸正一誠会長

4月 クラブ活動状況

第1例会 (4月18日 Mon.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、西、山内 (6名)
 功労会員：澁谷 (1名)
 出席率 100% 充足率 216%
 メネット：伊藤、数澤 (2名)
 ゲスト：八反氏、吉川さん、北村さん、北村君 (4名)

第2例会 (4月1日 Mon.)

メ ン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、山内 (5名)
 メネット：数澤、朝倉 (2名)

ニコニコタイム

11,000円

クラブファンド

累計 117,000円

BFポイント

切手 0g 累計 1,575g
 現金 0円 累計 0円

会 長	幸正一誠	書 記	西 信之
副会長	数澤輝夫		山内ミハル
	伊藤仁信	会 計	朝倉みゆき
		メット会長	数澤淑子

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会：毎月1日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

北陸YMCAを目指して

富山YMCA総主事 松田 誠一

2011年震災の当日に富山に着任し、8年を迎え、このたび総主事を退任することになりました。同じく北陸のYMCAとして、YMCA運動の継続に尽力されてきた金沢YMCAの皆様にご敬意を表するとともに心より感謝いたします。このたびは、送別会を催していただき心より御礼申し上げます。熊本YMCA初代主事であった淵田多穂里が、金沢の地において、YMCAを支えたわけですから、私もその思いを学び、神様のご計画と信じて精一杯努めて参りました。しかしながら、スタッフとして勤務していても、大変な業務なのですから、ボランティアの皆様による金沢YMCAの運営は厳しい状況であったとお察しいたします。しかし、金沢は、全国の中でも最も活気ある都市であり、キリスト教基盤もあり、また大学生が多いという若者の街であります。YMCAが根付く条件がすべて揃っています。それだからこそ、全国のYMCAが注目しないわけがありません。YMCA運動の火をつければすぐに広がる可能性を秘めた街です。それを実現するためには、事業を推し進めるスタッフが必要です。中小のYMCAは、当然のことながら、人材発掘、人材育成が重要と判っていても、なかなか着手する機会を得ることが難しい状況です。全国のYMCAでブランディングを推進していった目的の一つに提供するサービスの均質化、高品質化があげられます。それ故、スタッフの育成は必須ですが、総主事レベルの人材の維持は経営的にも厳しく、同様に時間をかけた計画的な人材育成を必要とします。富山でも、次期総主事の招聘は難しいのではと不安でした。かろうじて熊本から支援をいただくことができましたが、同様に金沢に対して富山や滋賀といった中小YMCAが単独で人材を派遣し、支える余裕はありません。将来的には、全国のYMCA運動として、地区やエリアで、複数のYMCAが協働で設置計画、事業計画を作成して取り組むことが可能となるのではないかと考えています。全国のYMCAの課題は共通しています。スタッフを育て、スタッフを支えるボランティアが集まり、ボランティアを育て支えるためにワイズメンズクラブは存在すると思います。その底辺を広げていくことがYMCA運動であり、規模を問わず最も重要なことであると思います。そのためにも金沢ワイズ、金沢犀川ワイズの皆様が、その時までしっかりとYMCAの基盤を作り、守っていただくことを願い、皆様の働きが実り、新たな進展が築かれますことを期待しています。金沢は結婚する前から、妻との思い出の街であり、今となっては故

郷の一つでもあります。素晴らしい街並みと若いエネルギーに満ちた金沢YMCAを、遠い熊本から応援しています。富山YMCA、とやまワイズと共に、北陸YMCAを目指していきましょう。ありがとうございました。

大沢 俊夫氏プロフィール

県立津幡高校卒

津幡町役場を経て昭和43年大沢米穀を設立し現在に至る。

昭和53年4月NPO世界の砂漠を緑で包む会を設立し、JICAと組んでの中国内モンゴル自治区阿拉善^{あらしやん}での砂漠緑化活動を本格化。

平成23年津幡町の県森林公園整備事業開始。

平成27年9月エチオピアでの里山復元事業開始。

【4月例会報告】

4月例会は平成最後の例会となりました。出席率は100%、ゲストを加えて充足率216%の例会とすることができました。

スピーカーには八反順一郎氏をお願いしましたが、お話は大学の専門学部で生物学の授業をうけているよう。所々「なるほど」と頷けるところもありましたが、ほとんどはチンプンカンプン。ノーベル医学・生物学賞受賞の山中伸弥教授も「遺伝子は人体の設計図」と言っておられたような記憶があるのですが……。

今回の記録担当である幸正会長もスピーチの内容をまとめきれず、八反氏ご本人にわかりやすくQ&A形式で原稿を依頼しました。



「(椿の花+山菜) × バイオ=?」

八反順一郎

Q: バイオってなんなの? それでどんなことしてるの?

A: えーと、バイオって何の略だっけ? そうそう、

Biotechnology (生物工学)、Molecular biology (分子生物学)、それに Genetic engineering (遺伝子工学) とか、遺伝子を扱う基礎研究やその産業への応用ってことかな。

Q : じゃあ、遺伝子って何？

A : えっ？生物の設計図で、その正体はワトソンとクリックが見つけた二重らせんのDNA。

Q : その設計図で何が出来るの？

A : タンパク質とか。

Q : じゃ、タンパク質は何してるの？

A : 色々。細胞を作る成分とか、遺伝子のオン・オフのスイッチとか、触媒として働く酵素とか…。

Q : そんなの調べて何が面白いの？

A : 何かの遺伝子を取ってきて、微生物や動植物に入れてやるでしょ、そうすると新しい機能が分かったり、これまでにない性質を付与したり、効率よく物質生産できたりするんだけど…。

Q : ふーん、そのどこが面白いのかね…？
それで、あなた何してるの？

A : テルペンって言って、匂いとか色とかになる成分があるんだけど、それを作る遺伝子の研究。例えば、カンツバキ (*Camellia hiemalis*) の花から遺伝子を見つけてきて、それを大腸菌で働かせたら、大腸菌の培地から甘い匂いがしてきて、共同研究者に構造を決めてもらったら、香り成分のバレリアノールでしたという結論。それで、その酵素＝テルペンシンターゼ (TPS) の遺伝子は、*ChTps1* と命名させてもらいました。

Q : それって、凄いこと？

A : いいや、全然。ただ、データベースを調べると、お茶 (*C. scinensis*) にも *ChTps1* とほぼ同じ配列の遺伝子があることが分かって (*CsTps8*)、もしかしたらお茶にもバレリアノール、あるんじゃないかってことになって。で、緑茶と紅茶を分析したらホントにあったんですよ！

Q : それって凄いこと？

A : ちょっとね。

Q : どうして？

A : だって、緑茶や紅茶って随分前から世界中で大量に消費されてて、香り成分なんて遙か昔に調べ尽くされてるって思うでしょう？でも、実際にはまだ報告されていない成分があったって分かったんだからビックリじゃないかな？しかも、予想では他にも未知の成分がありそうだし。

Q : ふーん…。

あと、タイトルには山菜ってあるけど、そっちは？

A : そうそう、ウドとかウコギとかいった山菜や、その他の身近な植物からも色々な TPS の遺伝子を見つけてます。芳香はヒトの記憶に影響を及ぼすそうなので、今後、大腸菌で量産した色々な香り成分を用いて、認知症緩和とかの生理機能試験ができればいいなあなんて思ってます。



~~~~~お知らせ~~~~~

☆とやまワイズメンズクラブチャーターナイト

待ちに待った「とやまワイズメンズクラブ」が金沢クラブをホストクラブとして設立される運びとなり、国際協会加盟認証状伝達式が下記のように行われます。

日時：2019年5月11日(土)

15:00 受付

16:00 開会点鐘

17:00 感謝の歌声

閉会点鐘

17:30 記念写真撮影

18:00 懇親会

20:30 終了

場所：とやま自遊館

参加予定：幸正君、数澤君、伊藤君、朝倉夫妻、
数澤様、山内さん

☆春のクリーンキャンペーン

主催：金沢市青少年団体協議会

日時：5月26日(日) 6:00~7:00

場所：金沢YMCA界隈

持ち物：軍手、レジ袋、その他

~~~~~YMCAからのお知らせ~~~~~

☆YMCA総会を開催します

日時:2019年6月6日(木)18:00~20:10

場所:北陸学院大学本館1階 ILC 教室

議題:第1号議案 2018年度事業報告及び決算  
の承認に関する件

第2号議案 2018年度監査報告に関する件

第3号議案 2019年度事業計画及び予算に  
関する件

その他、懇談会を行う。

理事:朝倉秀之、澁谷洋太郎、幸正一誠、

平口哲夫、山内ミハル、

監事:澤瀬 諭、山野 晋

評議員:伊藤仁信、数澤輝夫、北肇夫、竹中文晴、

三谷信三、西 信之、山本達也

藤井辰男、八反順一郎、田口昭典

Happy Birthday

お誕生日おめでとうございます

西 信之君 5月 6日

幸正まり子さん 5月19日

6月の担当

聖句担当 : 山内ミハルさん

ブリテン執筆 : 幸正 一誠君

数澤 淑子さん



× ネット報



孫娘の高校入学

私には5人の孫が与えられています。年齢順に、上3人は娘夫婦の子ども、下2人は息子夫婦の子どもです。一番年上の孫娘は小学校の先生になりたいと、東京学芸大学の学生です。二番目は唯一男の子、幼児教育に関わりたいとのことで、今春金城大学のこども福祉学科に入学しました。この二人が高校入試の時、北陸学院院に入ってほしいなあと思っていたのですが、二人とも「いやだ」と受験しませんでした。ところが3番目の梨々は私の念願かなって、北陸学院高校に入学しました。入学式に娘にさそわれ、私も立ち会ってきました。懐かしかったです。

日曜日を挟んで次の日から通学が始まったようです。通学二日目、気温が急激に下がり、冷たい雨の日となりました。朝8時過ぎ、梨々から泣いて電話がかかり、「武蔵で乗り換えたけど、学校と違う方向に来てしまったので降りた。どこから、どのバスに乗っているかわからない…」と言うのです。まわりの建物の看板や名前を言ってもらったのですが、私にも分からない。「教会になら行けるかも…」と言うので、教会で待ち合わせることにして、井ノ川牧師に電話し保護を依頼、学校にも遅刻する旨連絡しました。気はあせるものの、雨と寒さに加え、通勤ラッシュ、普通なら15分で行けるところ、30分かかりましたが、何とか無事、教会から学校まで送ることができました。

次の日、「学校がお昼で終わったけど、バスが16時まで無い」とまた電話が入る。昼食は母親が、家に用

意してくれてあるという。仕方がないので、また教会で待ち合わせ、近くのラーメン店で一緒に食事をし、ついでに、朝、香林坊から学校まで歩いているというので、小立野行のバスに乗り換えできるバス停を教え、岸川の自宅まで送る。

そして三日目、ワイズの例会日だったので、夕方友人を迎えに行く途中、また着信あり。車を道の脇に寄せて出ると、「バスのイカのお金が足りなくて、バスに乗れない」という。なんたること！夕方のラッシュ時で友人を乗せてから、彼女を迎えに行くと例会に遅刻となるので、会場の金沢ニューグランドホテルまで歩いてくるよう指示、我々の到着より5分ほど遅れて彼女も到着、2,000円渡して一件落着。

それにしても、岸川の田舎から、金沢の中心部に通学するのに、金沢ではバスの行先によってバス停が違う複雑な路線になっていることについて、また、発車時刻について、なぜ事前に教えておかなかったのか、また、バスの定期券はまだ購入できないのか等、本人がしっかりしないのが一番いけないのだろうが、「甘やかしてばかりいるからだ」と娘夫婦に腹を立てていたのに、父親から「お義母さん、すみませんでした。有難うございました」とのお礼の電話に、4月から宮仕えから解放され、24時間自由の身となって、「別にいいよ、どうせ時間がいっぱいあるから…」と、いい顔をしている私でした。

(山内ミハル記)